

省ゴミを 世界に広めたい



シャープ化学工業株式会社

廃棄物を10分の1にカット

シーリング材、コーキング材、接着剤等の製造・販売を手がけるシャープ化学工業。シーリング材とは、レングヤコンクリートブロック等を組んだりタイルを貼る際に、水密性や気密性を得るため、目地（部材の接合部）に充填する材料のこと。

同社はシーリング材のメーカーでありながら、省ゴミ容器の開発企業として業界で知られている。ありそうでなかった「使いやすくして環境にやさしいシーリング材容器」を考え出し、エコロジーな社会づくりに貢献している。平成13年にはグッドデザイン賞を受賞。平成20年3月にはヨーロッパパテント（欧州特許）を得るなど、国内外で広がりを見せつつある。

同社が考え出した省ゴミシーリング材容器「SKパウチ」とは、チューブのようなやわらかい容器。シーリング材は建設分野等で多く使われるが、従来の容器は硬い筒型カートリッジだった。だが膨大なシーリング材を使うビル建設現場などでは、これらが容器ゴミとして大量発生してしま



い、多大な廃棄物処理量につながっていた。ここに着目したのが同パウチだ。使用後はつぶして小さく廃棄できるよう、シャンプーの詰め替え容器に使われるようなパウチを産業用に改良。廃棄物量を10分の1に抑えるという画期的なゴミ削減効果をもたらした。

「容器を発売したのは8年前になりますが、このころ世の中はISO14001（国際環境規格）ブーム。当社としても、何か環境関連の商品を開発しないと、という必要性にかられていました」と村上幹男社長は振り返る。当時、すでに省ゴミ容器は他社から発売されていたが、市場では「使い勝手が良くない」との声が挙がっていた。その声を敏感にキャッチし、工具や手を汚さない容器に仕上げたことが、市場に受け入れられるきっかけとなった。

即断即決力で 海外市場を切り開く

シャープ化学工業では、特許を取得し、知的財産を守りながら製品をPRしていく営業手法も展開。これが功を奏し、最近では玩具メーカーから「同パウチを使いたい」という依頼が寄せられ、実際に大ヒット玩具の一部として売り出されている。商品開発力、特許を有効利用する経営戦略もさることながら、営業マンが持ち帰った取引先の声や要望を、いち早くものづくりに反映する「即断即決力」も、中堅である同社の強み。この素速さが、塗装の工期短縮に役立つ硬化シーリング材

「ペイントヘンセイ」や、暗がりでも光る避難誘導用シーリング材「ホテルコーク」等、今までにない商品を次々と生み出している。

今後は、特許によるライセンスビジネスを視野に入れながら、海外の中小企業とも連携しつつ、国際市場への進出にも力を入れていくという。

「私自身、海外企業に勤めていた経験があります。それを活かしながら、今まで大手に先手を取られていた分、これからは当社が『市場を創るパイオニア』になりたいですね」と村上社長は笑う。

主な事業内容

シーリング材・コーキング材の製造・販売等



村上幹男さん
代表取締役社長

シャープ化学工業株式会社

Company Profile

住所 / 〒592-8352
大阪府堺市西区築港浜寺西町13-12
創業 / 昭和35年5月
設立 / 昭和40年2月
資本金 / 9,200万円
従業員 / 42名（平成21年1月現在）
TEL / 072-268-0321
FAX / 072-268-0326

ISO 9001

大阪
20

<http://www.sharpchem.co.jp/>